

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

みなと報告

徳島小松島港災害時事業継続計画(徳島小松島港BCP)が策定されました

平成23年3月に発生した東日本大震災では、岸壁等の損傷、ヤード・臨港道路等の液状化、荷役機械の損傷、航路・泊地の被災等の物的被害のほか、各関係機関の被災により、長期に渡る港湾機能の低下、ひいては我が国におけるサプライチェーンの停滞等の大きな社会的・経済的影響をもたらしました。

徳島県においては、広域的被害が想定される南海トラフを震源とするM8.0以上の地震が、今後30年以内に60~70%の確率で発生することが予測されており、発災時には徳島小松島港においても、地震動、津波による被害、液状化による後背地の被害にともなって、サプライチェーンの寸断が懸念され、その対策が求められておりました。

そこで、平成24年10月に災害時徳島小松島港活用方策検討関係者会議を立ち上げ、大規模災害時における徳島小松島港の機能継続について検討を進め、この度、平成26年3月7日に開催されました第4回災害時徳島小松島港活用方策検討関係者会議において徳島小松島港災害時事業継続計画(徳島小松島港BCP)が策定されましたので報告いたします。

なお、計画の概要については、次ページ“みなとインフォメーション”をご覧ください。



↑ 第4回災害時徳島小松島港活用方策検討関係者会議
(平成26年3月7日開催)

INDEX ▶

- みなと報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
徳島小松島港に関わる事業継続計画(BCP)が策定されました
- みなとインフォメーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
徳島小松島港事業継続計画(BCP)について
- なるほどみなと講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
徳島小松島港について
- みなと通信・・ 4
NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしまへの取り組み